

3. 消防財政

1. 市町村の消防費

(1) 消防費の決算状況

消防費の決算状況は、下表のとおりである。

市町村普通会計及び消防費の決算状況

(単位：億円、%)

項目		19年度	18年度	増減額	増減率
普通会計歳出総額(a)	一部事務組合 を含む	17,974	17,662	312	1.8
消防費歳出総額(b)		1,055	1,044	11	1.1
(b) / (a)		5.9	5.9		
普通会計歳出総額(c)	一部事務組合 を除く	17,696	17,396	300	1.7
消防費歳出総額(d)		882	876	6	0.7
(d) / (c)		5.0	5.0		

また、消防費の市町村普通会計歳出総額に占める比率を市町村別にみると、長柄町及び鋸南町(9.8%)が最も高く、次いで多古町(9.3%)、大多喜町(8.7%)の順となっている。

(2) 1世帯及び住民1人あたりに支出した消防費

市町村における平成19年度消防費の1世帯当たり及び住民1人当たりの県平均額は下表のとおりである。

市町村別に見ると、1世帯当たりの消防費は、長柄町(115,559円)が最も高く、次いで大多喜町(110,147円)、鋸南町(106,742円)の順となっている。

また、住民1人当たりの消防費は、鋸南町(39,878円)が最も高く、次いで長柄町(35,402円)、大多喜町(35,278円)の順となっている。

1世帯当たり、住民1人あたりに支出した消防費の推移

(単位：円)

項目・年度		15	16	17	18	19
1世帯あたり	組合含む 一部事務	39,735	45,497	44,334	44,648	44,340
住民1人あたり		17,650	17,403	17,134	17,248	17,337
1世帯あたり	組合除く 一部事務	38,905	38,106	36,902	37,463	37,070
住民1人あたり		14,550	14,576	14,262	14,472	14,495

(3) 消防費の性質別内訳

消防費の性質別内訳は、次のグラフのとおりであるが、消防費のうち人件費の占める割合が高く、全体に占める割合は64.8%である。

平成19年度市町村別消防費性質別歳出決算額の割合（一部事務組合を含む）

単位：百万円

